



お湯や温かい物からどうして湯気が出るの

水は三つの形に姿を変える

水は温度によって、三つの形に姿を変えています。水は、ふつうの温度では液体です。水は0度以下に冷やされると、氷（固体）になります。水を熱したときには、水は水蒸気（気体）になります。

洗たく物がかわいたり、水をコップに入れておくと、水が自然になくなるのは、水が蒸発して空気中に出ていくからです。このように、水は温めなくても少しずつ蒸発して、水蒸気になっています。

水蒸気が冷やされると、湯気になる

水を温めていくと、温度が高くなるほどさかんに水蒸気になって、空気中に出ていきます。ところが、温められて水蒸気になったあとも、そのままの姿でいられれば、水蒸気のままです。しかし、水蒸気が冷やされると湯気になります。

お湯や温かい物から湯気が出ているのは、これらの物から出ている水蒸気が、空気中で冷やされて湯気になったからです。湯気は、水蒸気が小さな水のつぶになったものです。寒い日に、ふる場に湯気もうもうと立ちこめるのは、水蒸気がまわりの冷たい空気ですかんに冷やされて、湯気が多くなったためです。（監修・小川 格）

